



浦 添 市 地 域 公 共 交 通 会 議

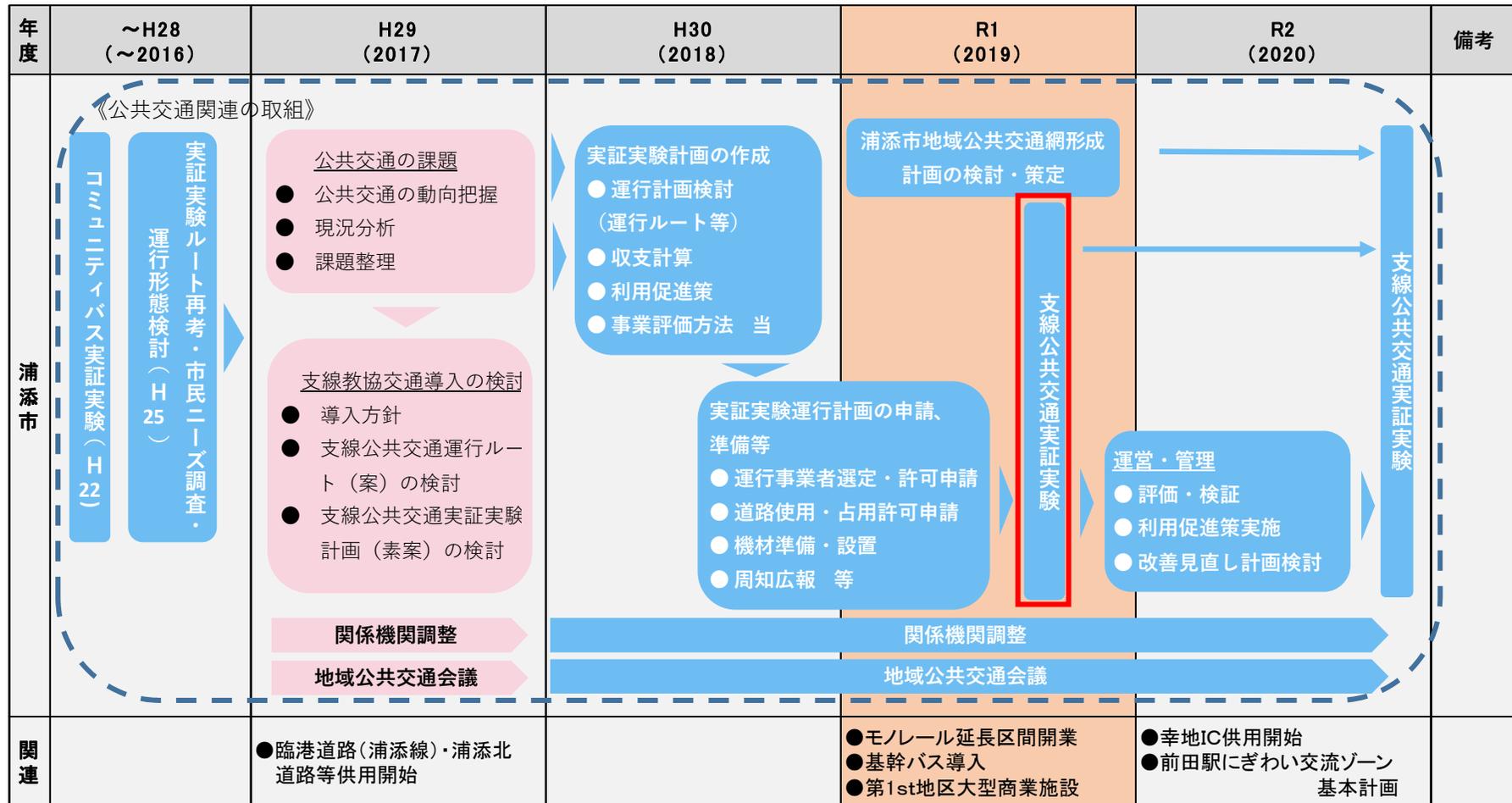
【 第 1 回 】

資料 2 : 平成30年度浦添市地域公共交通会議の
会議内容振り返り

令和元年9月27日
浦添市都市建設部都市計画課

1. 支線公共交通導入に向けた全体工程

○支線公共交通に向けて、全体工程の中で令和元年度においては、「支線公共交通実証実験」を行っていく。





【第1回会議】

第1回会議においては、支線公共交通実証実施計画(案)、支線公共交通運行ルート(案)、運行事業者選定方針(案)について承認された。

・議題

(1) 報告

- ①平成29年度浦添市地域公共交通会議の会議内容振り返り
- ②コミュニティバスの駐機場・営業所検討状況について
- ③実験予定バス車両を用いての試走実施結果

(2) 議案

- ①支線公共交通実証実施計画(案)について
- ②支線公共交通運行ルート(案)について
- ③運行事業者(委託先)選定方針について

運行事業者選定方針(案)

支線公共交通実証実験の運行事業者の委託先選定については「コミュニティバス導入に関するガイドライン」を基本として下記の方針を定め、選定方法や選定基準を検討したい。

方針1：運行経費の多寡のみではなく、総合的な評価基準を作成する

国土交通省が定めるガイドラインを遵守し、運行事業者を委託する場合の運行主体（一般乗合旅客自動車運送事業者）の選定にあたっては、運行経費の多寡のみを基準とすることなく、収益拡大策、運行の安全性、利用者の利便性、環境への配慮、緊急時の対応能力等の観点から総合的に評価する基準を作成する。

方針2：他公共交通機関とのネットワーク構築を考慮する

ガイドラインの下記留意事項を基本とし、他路線（基幹バス含む）やモノレール、他交通機関との結節、乗り継ぎ利便性等を考慮した選定基準を作成する。

- ・コミュニティバス導入にあたっては、路線、区域、運行時刻等において路線バスとの整合性を図る
- ・停留所や乗降場所については、路線バスとの乗り継ぎを考慮して検討
- ・結節点における路線バスとの接続を考慮して行う
- ・モノレールとの接続を推進するために、バス運賃のICカード決済を導入することが可能か

方針3：運行安全性確保のため、運行実績条件を設定する

ガイドラインでは、選定する際の評価項目の比重は、運行経費に偏ることのないようにすべきとされており、とりわけ運行の安全性には十分な配慮が必要と定められている。

バス車両を用いて走行する実証実験運行ルートの一部は、歩道が無い道路や幅員が狭い道路が含まれている。このような道路を雨天時や夜間、台風前後等の状況下でも安全かつ円滑に運行管理ができる事業者を選定することが重要である。以上を踏まえ、運行事業者の委託先は下記の実績を有している事を条件とする。

- ・一般乗合旅客自動車運送事業で浦添市市道の運行実績があるか
- ・本実証実験で使用する車両を用いた一般乗合旅客自動車運送事業の運行実績があるか



【第2回会議】

第2回会議においては、支線公共交通運行ルート一部変更と支線公共交通バス停設置位置、支線公共交通ダイヤが承認された。

・議題

(1) 報告

- ① 第1回浦添市地域公共交通会議要旨について
- ② 潜在需要規模推計結果について

(2) 議案

- ① 支線公共交通運行ルート一部変更について
- ② 支線公共交通バス停設置位置について
- ③ 支線公共交通ダイヤ設定について



【第3回会議】

第3回会議においては、支線公共交通実証実験計画(案)の一部見直しについて、支線公共交通バス停設置位置(詳細)について支線公共交通実証実験計画(案)について承認された。

・議題

(1) 報告

- ① 第2回浦添市地域公共交通会議要旨について

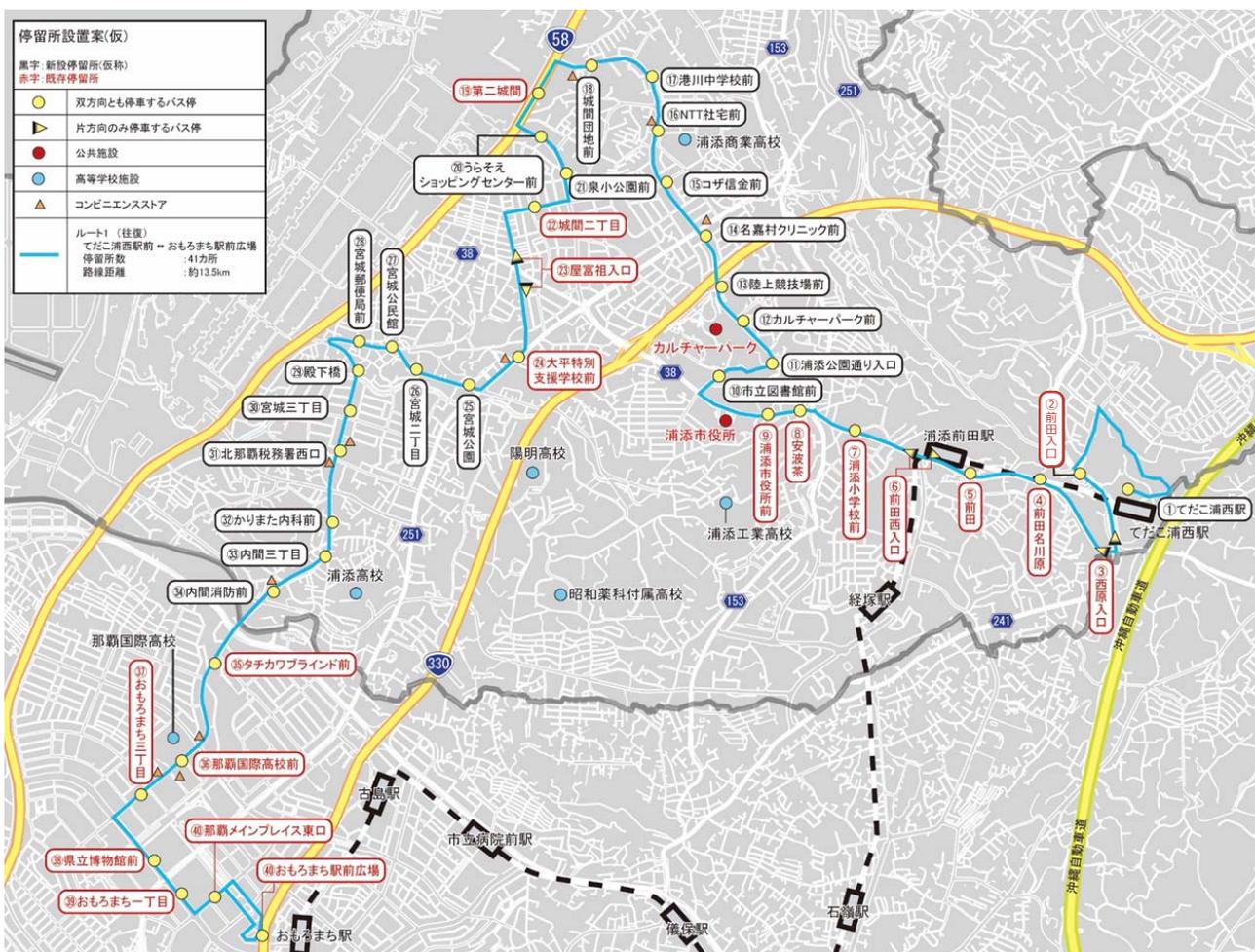
(2) 議案

- ① 支線公共交通実証実験計画(案)の一部見直しについて
- ② 支線公共交通バス停設置位置(詳細)について
- ③ 支線公共交通実証実験計画(案)について

3.実証実験内容【運行ルート】

- 運行ルートは平成29年度に検討された推奨案の2ルートについて、実験予定車両で運行可能な道路幅員・線形及び安全性の面を考慮しつつ、バス事業者や関係機関（道路管理者等）との意見交換や、同型車両を用いた試走を実施したうえで決定した
- また、第2回会議までの承認ルートに対し、実験予定期間中のてだこ浦西駅周辺の道路工事に伴う迂回を考慮したルートを設定した

■ ルート1



▼小型バスを使用した試走状況



▼中型バスを使用した試走状況

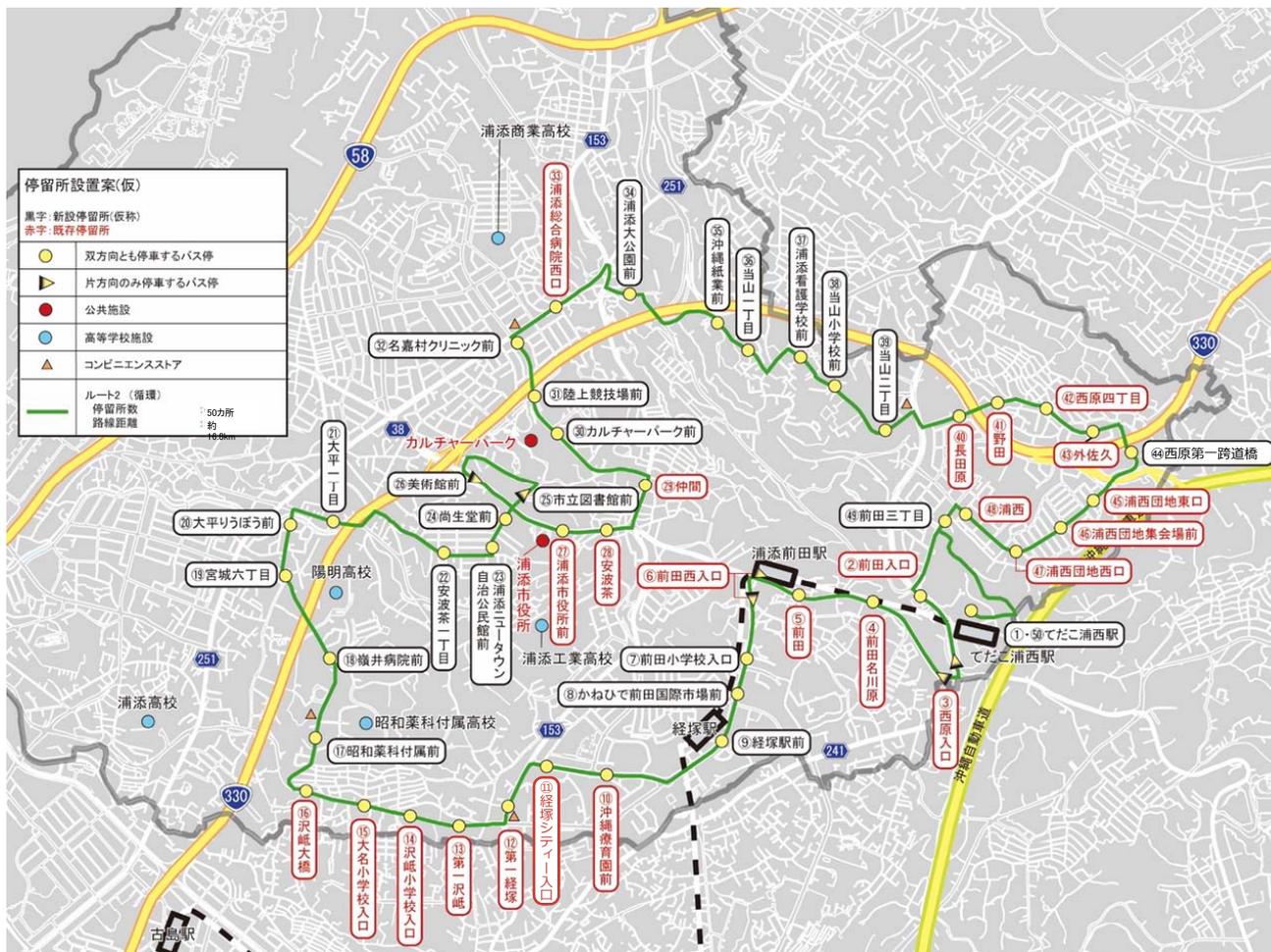


停留所数: 41カ所
 運行距離: 13.5km

3.実証実験内容【運行ルート】

- 運行ルートは平成29年度に検討された推奨案の2ルートについて、実験予定車両で運行可能な道路幅員・線形及び安全性の面を考慮しつつ、バス事業者や関係機関（道路管理者等）との意見交換や、同型車両を用いた試走を実施したうえで決定した
- また、第2回会議までの承認ルートに対し、実験予定期間中のたご浦西駅周辺の道路工事に伴う迂回を考慮したルートを設定した

■ ルート2



▼小型バスを使用した試走状況



停留所数: 50カ所
運行距離: 16.8km

3.実証実験内容【バス停位置】



- 平成29年度に実施されたアンケート結果等より、バス停は200m間隔を配置基準として、周辺状況等に応じて設置を計画
- 道路条件、周辺交通への影響等を勘案し、バス停間隔はルート1、ルート2ともに平均で約340m間隔とした

■ルート1

No.	バス停(仮称)	バス停間隔 (m)	累計距離 (m)	バス停	
				おもしろ駅向け	てだこ浦西駅向け
1	てだこ浦西駅	-	-	●	●
2	前田入口	1,000	1,000	○	●
3	西原入口	450	1,450	●	●
4	前田名川原	350	2,000	●	●
5	前田	400	2,400	●	●
6	前田西入口	250	2,650	●	●
7	浦添小学校前	350	3,000	●	●
8	安波茶	350	3,350	●	●
9	浦添市役所前	250	3,600	●	●
10	市立図書館前	350	3,950	○	○
11	浦添公園通り入口	300	4,250	○	○
12	カルチャーパーク前	300	4,550	○	○
13	陸上競技場前	200	4,750	○	○
14	名嘉村クリニック前	200	4,950	○	○
15	コザ信金前	450	5,400	○	○
16	NTT社宅前	150	5,550	○	○
17	漢川中学校前	300	5,850	○	○
18	城間団地前	400	6,250	○	○
19	第二城間	400	6,650	●	●
20	うらそえショッピングセンター前	300	6,950	○	○
21	泉小公園前	250	7,200	○	○
22	城間二丁目	300	7,500	●	●
23	壁雷祖入口	450	7,950	●	●
24	大平特別支援学校前	450	8,400	●	●
25	宮城公園	350	8,750	○	○
26	宮城二丁目	150	8,900	○	○
27	宮城公民館	250	9,150	○	○
28	宮城郵便局前	150	9,300	○	○
29	殿下橋	300	9,600	○	○
30	宮城三丁目	200	9,800	○	○
31	北那覇税務署西口	250	10,050	○	○
32	かりまた内科前	350	10,400	○	○
33	内間二丁目	200	10,600	○	○
34	内間消防前	250	10,850	○	○
35	タイカフラインド前	300	11,150	○	●
36	那覇国際高校前	350	11,500	●	●
37	おもしろまち二丁目	250	12,150	●	●
38	県立博物館前	400	12,550	●	●
39	おもしろまち一丁目	300	12,850	●	●
40	那覇メインプレイス東口	200	13,050	●	●
41	おもしろまち駅前広場	450	13,500	●	●
バス停間隔(平均)		338m		●既設バス停:18 ○新設バス停:23	●既設バス停:20 ○新設バス停:21

■ルート2

No.	バス停(仮称)	バス停間隔 (m)	累計距離 (m)	バス停	
				時計回り	反時計回り
1	てだこ浦西駅	-	-	●	●
2	前田入口	1,000	1,000	○	●
3	西原入口	450	1,450	●	●
4	前田名川原	550	2,000	●	●
5	前田	400	2,400	●	●
6	前田西入口	250	2,650	○	●
7	前田小学校入口	200	2,850	○	○
8	かねひで前田国際市場前	250	3,100	○	○
9	経塚駅前	400	3,500	○	○
10	沖繩療育深倉園前	450	3,950	●	○
11	経塚シティー入口	300	4,250	●	○
12	第一経塚	250	4,500	○	●
13	第一沢岬	300	4,800	●	●
14	沢岬小学校入口	300	5,100	●	●
15	人名小学校入口	200	5,300	●	●
16	沢岬大橋	250	5,550	●	●
17	昭軒薬科付属前	350	5,900	○	○
18	嶺井病院前	500	6,400	○	○
19	宮城六丁目	400	6,800	○	○
20	大平いばら前	200	7,000	○	○
21	大平一丁目	150	7,150	○	○
22	安波茶一丁目	650	7,800	○	○
23	浦添ニュータウン自治公民館前	350	8,150	○	○
24	尚生堂前	150	8,300	○	○
25	市立図書館前	200	8,500		○
26	美術館前	500	9,000		●
27	浦添市役所前	500	9,500	●	●
28	安波茶	200	9,700	●	●
29	仲間	300	10,000	○	●
30	カルチャーパーク前	500	10,500	○	○
31	陸上競技場前	200	10,700	○	○
32	名嘉村クリニック前	200	10,900	○	○
33	浦添総合病院西口	400	11,300	●	●
34	浦添大公園前	450	11,750	○	○
35	沖繩紙業前	550	12,300	○	○
36	当山一丁目	100	12,400	○	○
37	浦添看護学校前	300	12,700	○	○
38	当山小学校前	250	12,950	○	○
39	当山二丁目	350	13,300	○	○
40	長田原	400	13,700	●	●
41	野田	150	13,850	●	●
42	西原四丁目	250	14,100	●	●
43	外佐久	300	14,400	●	●
44	西原第一跨道橋	200	14,600	○	○
45	浦添団地東口	400	15,000	●	●
46	浦西団地集会所前	200	15,200	●	●
47	浦西団地西口	200	15,400	●	●
48	浦西	350	15,750	●	○
49	前田三丁目	150	15,900	○	○
50	てだこ浦西駅	900	16,800	●	●
バス停間隔(平均)		343m		●既設バス停:23 ○新設バス停:27	●既設バス停:24 ○新設バス停:26

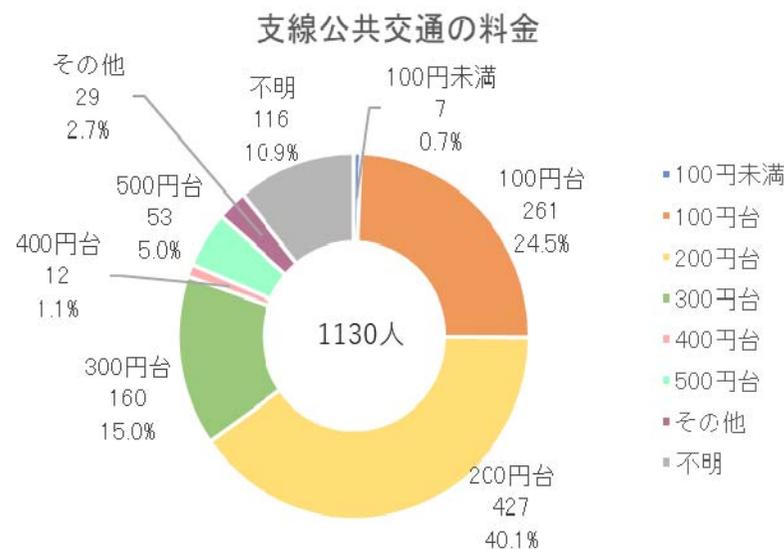
3.実証実験内容【運賃設定】

- 平成29年度のアンケート結果より、市民が利用可能と考える運賃は200円台が最も多く40.1%、200円未満は25.2%を占める（参考2）
- 運賃を200円とした場合、61.2%が利用可能と考えていることから、実証実験における運賃はルート1、2ともに**一般料金を200円**として設定し、小児運賃は100円で設定
- 障がい者、免許返納者、幼児等については**一般路線バスと同等な割引率**で設定
- なお、実験期間中は定期券・回数券の利用は設定しないこととする

■ 運賃設定

対象	料金	備考
一般	200円	中学生以上
小児	100円	小学生
障がい者	100円	
免許返納者	100円	
幼児 (1歳以上5歳以下)	100円	幼児単独乗車時
	無料	同伴者(大人・小児)1人につき幼児1人まで無料、2人目からは小児運賃
その他	日・祝ファミリー割引 ※日曜日と祝祭日に限り、大人(中学生以上)1人につき、小学生以下のお子様3人まで無料	

■ 支線公共交通利用時の運賃について（参考2）



出典：平成29年度「支線公共交通導入」に関するアンケート調査結果

3.実証実験内容【運行ダイヤ】



- 運行時間帯は平成29年度のアンケート結果及び路線バスやモノレール等との連携を考慮し、午前6時～午後22時台とする
- 車両数（4台）及び運行所要時間等を考慮し、1時間あたりの運行本数が1～2便となる平日22便／日、休日21便／日で設定
- 発時は、沿線学校の登校時間やモノレールとの連携による市内外への通勤時間等を考慮して設定

■ ルート1

・てだこ浦西駅発の時刻表

時間	平日	土曜・日曜・祝祭日
	22便／日	21便／日
6	10 40	30
7	10 45	10 40
8	40	15 45
9	20 55	35
10	30	05 50
11	25	35
12	05 45	25 55
13	20	40
14	35	55
15	15 55	45
16	30	15
17	30	00 50
18	10	40
19	00 45	10
20	40	10 50
21	10	
22		

・おもろまち駅前広場発の時刻表

時間	平日	土曜・日曜・祝祭日
	22便／日	21便／日
6		
7	15 55	30
8	35	15 45
9	10 55	30
10	35	00 50
11	10 45	20
12	40	05 55
13	20	45
14	00 35	15
15	55	00
16	35	15
17	15	05 35
18	00	25
19	00 40	15
20	15	00 30
21	00 45	20
22	15	00

3.実証実験内容 【運行ダイヤ】



- 運行時間帯は平成29年度のアンケート結果及び路線バスやモノレール等との連携を考慮し、午前6時～午後22時台とする
- 車両数（4台）及び運行所要時間等を考慮し、1時間あたりの運行本数が1～2便となる平日20便／日、休日19便／日で設定
- 発時は、沿線学校の登校時間やモノレールとの連携による市内外への通勤時間等を考慮して設定

■ルート2

・時計回りの時刻表

時間	平日	土曜・日曜・祝祭日
	20便／日	19便／日
6	30	55
7	10 55	40
8	55	15
9	40	05 40
10	20	35
11	15 55	20
12	45	15 50
13	25	45
14	45	50
15	25	45
16	15 55	20
17	50	15 55
18	30	50
19	40	40
20	15	35
21	05 40	5
22		

・反時計回りの時刻表

時間	平日	土曜・日曜・祝祭日
	20便／日	19便／日
6	30	55
7	20	45
8	10	15
9	00 50	10 40
10	25	35
11	25	20
12	00 55	15 50
13	30	45
14	55	55
15	30	50
16	25	30
17	05	25
18	00 50	05
19	55	00 50
20	35	40
21	30	15
22	00	

3.実証実験内容【運行車両】



- 実証実験に使用する車両は、ルート1では**中型バス**を用いることとする
- 中型バス車両は、運行委託先の**路線バス事業者より借用**することとする（常備4台、予備車1台）

■ ルート1

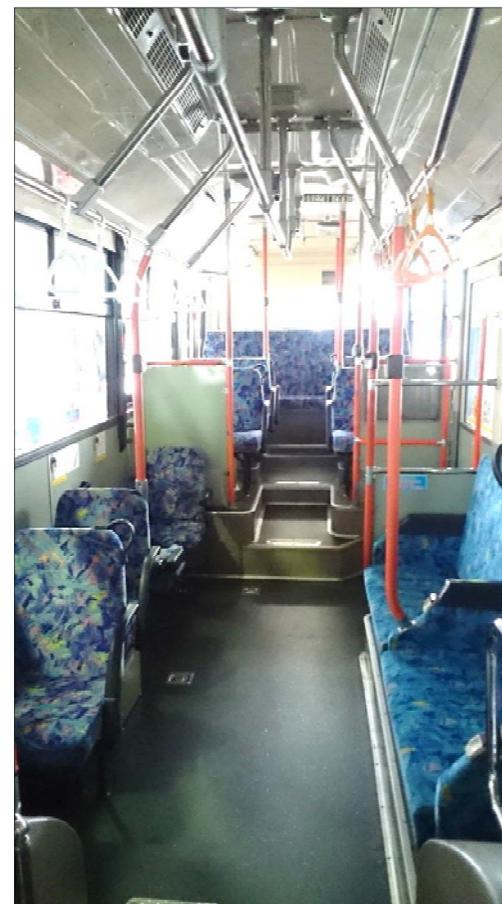
➤ 中型バスの概要

分類	中型バス
長さ×幅	9m×2.3m
乗車定員	約55人
最小道路幅員	5.5m
価格(目安)	1,900万円～
燃費	約5.0 km/ℓ
特徴	県内では路線バスとして数多く導入されている車両。平成22年の実験運行でも中型バスが使用された。 運転には大型免許が必要。

画像：中型バス



▼ 中型バス車内の例



出典：平成25年度まちづくり交通計画策定業務委託（その2）

3.実証実験内容【運行車両】



●ルート2においては、小型バス以下の車両を用いて実証実験を行う。

■ルート2

➤ 小型バス（ポンチョ）の概要

分 類	小型バス	画像：日野 ポンチョ
長さ × 幅	7m×2.1m	
乗車定員	約35人	
最小道路幅員	4.7m	
価格(目安)	1,500万円～	
燃 費	6.4 km/ℓ	
特徴	読谷村の鳳バスや新都心牧志線等で導入されており、全国的にもコミュニティバス（主に路線定期運行）として数多く導入されている車両。 運転には大型免許が必要。	

(画像・諸元・価格等はロングタイプ)

➤ 小型バス（マイクロバス）の概要

分 類	小型バス (マイクロバス)	画像：トヨタ コースター
長さ × 幅	7m×2.1m	
乗車定員	～29人	
最小道路幅員	4.7m	
価格(目安)	440万円～	
燃 費	8.6 km/ℓ	
特徴	需要規模の小さい過疎地でのコミュニティバス（路線定期・不定期運行）として使用される事が多い。 運転には中型免許が必要。	

➤ 大型ワゴンの概要

分 類	大型ワゴン	画像：トヨタ ハイエースコミュニーター
長さ × 幅	5.4m×1.9m	※「おでかけなんじい」で使用している車両
乗車定員	～14人	
最小道路幅員	4.5m	
価格(目安)	280万円～	
燃 費	10.2km/ℓ	
特徴	比較的小回りが利き狭隘な道路でも通行可能。 定員数が多いことからバスと称して使用される事が多い。 定員が11名以上なら運転には中型免許が必要。	

出典：平成25年度まちづくり交通計画策定業務委託（その2）